

Fujitsu Way

Fujitsu Way 改訂

富士通グループは、全社員の行動の原理原則として「The FUJITSU Way」を2002年に制定しました。その後、社会や事業を取り巻く環境の変化に合わせ、2008年に改訂するとともに「FUJITSU Way」へと名称を変更し、社員へのさらなる浸透を図ってきました。

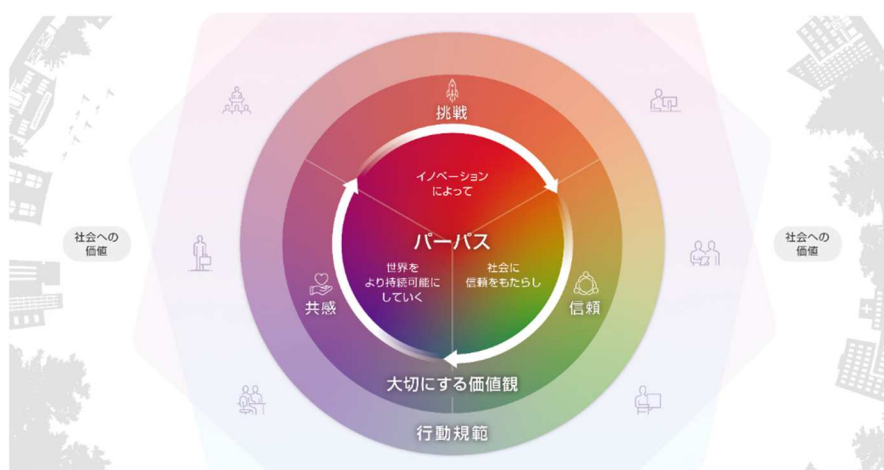
昨今、世界はより複雑に結びつき、急速に変化する不確実な時代を迎えており、地球規模の持続可能性に関する様々な脅威が顕在化してきています。そのような中、当社グループはテクノロジーを通じてお客様に価値を提供し、社会の変革に主体的に貢献していくため、「イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていくこと」を当社グループの「パーパス」と定め、その実現に向け、2020年7月1日に、12年ぶりに「Fujitsu Way」を刷新しました。刷新した「Fujitsu Way」は、「パーパス」「大切にする価値観」「行動規範」の3つから構成されます。それぞれが表すものは以下のとおりです。さらに、「大切にする価値観」は「パーパス」を実現していくために当社が実行すべき「挑戦」「信頼」「共感」の3つの行動の循環を示しています。

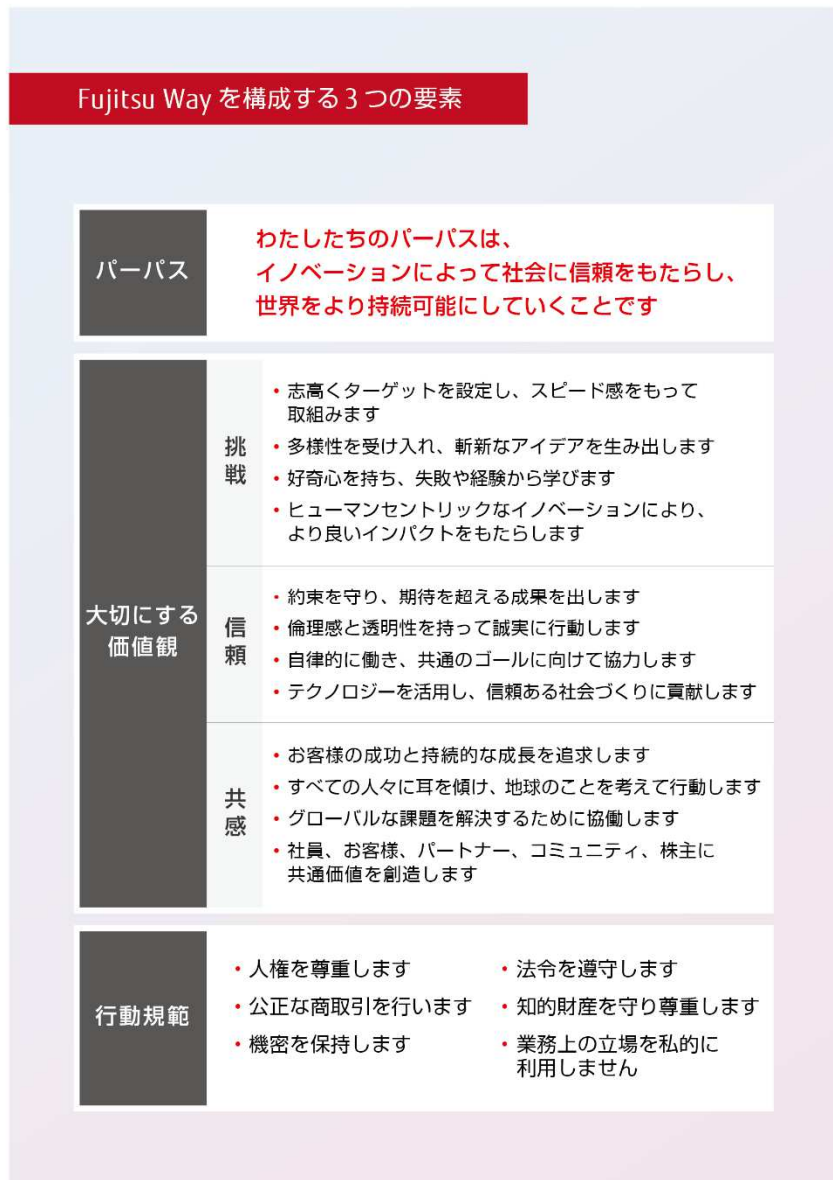
- 「パーパス」社会における当社の存在意義
- 「大切にする価値観」社員一人ひとりが持つべき価値観
- 「行動規範」社員として遵守すべきこと

当社グループは、新たな「Fujitsu Way」を社員一人ひとりの行動の拠り所として企業活動を推進し、「パーパス」の実現を目指していきます。詳細はこちらをご覧ください。

- Fujitsu Way について
<https://www.fujitsu.com/jp/about/philosophy/>

Fujitsu Way の構成





Fujitsu Way の浸透活動

7月1日の改訂以降、Fujitsu Wayの社員への浸透を図るため、全社員に向けて様々な形で説明会を行うなどコミュニケーション施策の展開を企画しています。また、着実な浸透に向けて、Fujitsu Way 推進責任者を富士通本体およびグループ会社に配置する準備を進めており、推進責任者が主体となって、年間を通じ Fujitsu Way の推進を主導する体制の構築を目指しています。

社内向け Fujitsu Way 解説書の展開

7月1日の改訂にあわせて、改訂内容についての理解浸透・行動変容を促すため、社員に対してわかりやすく解説した解説書を作成し社内向けに公開しました（日本語版・英語版）。作成にあたっては、社長をはじめとした経営陣が心に描く富士通を変えていきたい思いや歴代社長等が残した言葉（受け継ぐべきDNA）を、言葉ひとつひとつに込めました。今後は、社員全員が、パーパスの実現に向けて、Fujitsu Way を実践していくよう、説明会等を通じて活用していきます。



解説書のイメージ